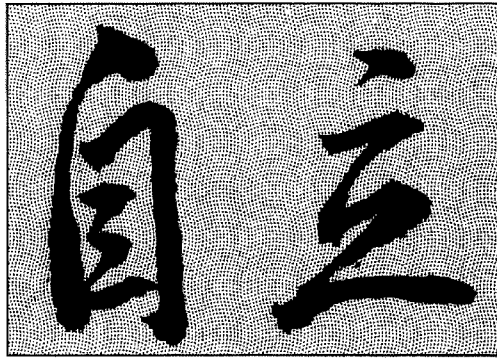




2024 年 11 月 発行
 社会福祉法人 ありのまま舎
 (障害者自立企画)
 発行責任者 白 江 浩
 編集 佐 藤 環
 〒982-8544
 仙台市太白区西多賀 4 丁目 19-1
 TEL 022 (243) 1300
<http://www.arinomama.or.jp/>
 E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

握りたてのお寿司に感謝！10月15日(火)！

今年も花の膳様のご厚意により、お寿司のご奉仕の食事を開催しました。花の膳様は宮城県と福島県に6店舗構える和食のお店です。当日は職人さんが目の前でお寿司を握ってくださり、お店でしか味わえない空間とお寿司の味を感じることが出来る貴重な時間を過ごすことが出来ました。

お寿司の提供にあたっては、太白ありのまま舎に入居している方の過半数の方は嚥下状態が低下しており、普通握りを召し上がる事が難しくなっています。その為、当日は花の膳様から握りやネタを分けて頂き、管理栄養士、調理師、調理員で入居者一人ひとりの状態に合わせて、お寿司を2等分や3等分にカットしたり、お粥の方や細かく刻む必要のある方は、ちらし寿司のようにして対応しました。入居者の皆さんも満足されていた様子で食事中は何度も「美味しね。減多に食べられないから嬉しい。」とおっしゃってられました。食後には、「美味しかったです。御馳走様でした。」と笑顔で挨拶されていました。

お忙しい中、今回は福島市の店舗から参加して下さいました方もおられるとの事でした。ご奉仕いただいた事に感謝の気持ちをお忘れず、今後もこの様な機会がある時には皆さんに伝えていける環境でありたいと思いました。



来舎頂いた花の膳の皆様



握りたてのすしを味わう入所者



▼施設入所者にすし提供
 施設入所者に魚介類を味わってもらうと、県内外で和食店6店を展開する「花の膳」(仙台市)が、仙台市太白区の障害者支援施設「ありのまま舎」ですしを振る舞った。

料理人5人が10月15日に訪

問。マグロやサーモンなど6種のにぎりや巻物を握り、入所者とスタッフ42人に提供した。入所者は「おいしい」「生魚は久しぶり」と目を細め、お代わりをする人もいた。障害でにぎりを食べられない人にはネタを細かく刻むなどして対応した。施設では食料費や衛生管理の制約から、給食に刺身身などを出すのが難しい。入所者に食べたいメニューを尋ねるとすしの回答が多く、事情を知った花の膳が2009年からコロナ禍を除き、年1回振る舞っている。

河北新報朝刊掲載
 令和6年11月4日(月)

薫る風

九月二十五日・二十六日の二日間、仙台で障害者支援施設の全国研究大会が行われた。千人を超える関係者が一堂に会し、記念講演、基調報告、実践発表、研究発表等が行われた。開催地こそ宮城県仙台市だが、東北六県五十六施設が準備を担当し、各県分担し、百人を超える人が準備に携わった。テーマとは別に「おもてなし」をコンセプトに歓迎の思いを込めた。その中に能登半島地震、豪雨と相次いだ災害で被害を受けた施設への思いも込めた。その被災地からは5人が参加して下さった。応援募金、応援ノート、東北六県と能登北陸をめぐるスタンプラリー等々行った。初日のプログラム終了後に行われた交流会では絆祭りの映像を流し、すずめ踊りをご覧頂いた。東北六県の銘酒やスイーツなどの名産品をそろえ、酒宴だけではない交流を目指した。絆祭りの中で東日本大震災からの復興のことにも触れた。実践発表の中でも災害対応について被災地から報告もあった。人材不足でも止められない支援の中で苦悩しながら工夫する姿も報告された。先進的な取組、より質の高い支援を目指す取組、失敗しながらもチャレンジを続ける取組、虐待や不適切な支援をなくすために奮闘する取組。施設で起こる事件や事故が大きく報道されるのはやむを得ないことだが、それが全てではない。むしろ普段の地道な努力の姿の方が圧倒的に多い。福祉や介護、ましてや障害の分野に携わろうとする人は少ない。理由は様々だが、そこで働く人々の普段のありのままの姿を見て欲しいと強く思う。他の産業に比べ格段に低い給与や、「大変」が先行して、その意義や役割の大きさを、やりがいが見えず敬遠されているのか？「それでもこの仕事を続けまう」と言ってくれた職員の言葉が私自身を叱咤激励してくれた。

(白江浩)

【全国身体障害者施設協議会】

第46回全国研究大会東北大会報告

9月26日(木)・27日(金) 江陽グランドホテル(仙台市)

江陽グランドホテル(仙台市)を会場に第46回全国身体障害者施設協議会研究大会「新しい障害者支援施設の創造を目指して」共に響き合うケアコミュニティの実現・地域の真ん中で私らしく暮らす」をテーマに全国大会が開催されました。

全国身体障害者施設協議会と

は、重度の身体障害者への支援を中心に行う障害者支援施設等を会員とする全国組織です。障害者支援施設・事業所を利用する方や在宅で暮らす障害者を持つた方の生活支援の展開に資することを目的に、関連制度施策の検証・調査研究・要望、個別支援の質を高め制度施策の理解を深めるための研修、情報提供等を実施しています。毎年持ち回りで全国大会を開催しており、今回東北の宮城県が会場になりました。また太白ありのまま舎がその事務局を担い、東北6県の担当者と共に準備を行ってき

ました。

研究大会には、全国の会員施設515施設より約1,050名の方々にご参加いただきました。



開会式の様子

1日目は、開会式、永年勤続者の表彰式、行政説明、基調報告、記念講演等が行われました。基調報告では全国身体障害者施設協議会の白江浩会長より『新しい「障害」者支援施設の創造を通してケアコミュニティを実現するため』と題してお話を頂きました。また記念講演では、仙台育英学園高等学校硬式野球部監督の須江航氏をお招きして「伝わる言葉・失敗から学ぶ」と題して貴重な話を頂きました。

2日目は、実践発表、研究発表が行われました。実践発表では全国の施設より日々取り組んでいることについて発表が行われました。(例・能登半島地震、共に前に進むには、震災1日目からの格闘／地域と共に生きる社会を目指した取り組み／身体拘束のその先へ／など35の発表)

さらに研究発表は6つのテーマに分けて発表が行われ、深く学ぶ機会となりました。(親亡き後を見据えた支援／継続し安定した新卒採用を目指して／虐待防止・権利擁護の組織風土づくりと意思決定支援ガイドラインなど)



研究発表を行う太白ありのまま舎

開催にあたっては、障害者権利条約の理念に則り、利用者の権利侵害・虐待の根絶、身体拘束の廃止に取り組む等、個別支援を基礎として自らの支援の質を追求できる取り組みを進めると共に、令和6(2024)年度には、障害者の日常生活と社会生活の支援の更なる拡充と、不足する障害福祉人材の確保・育成・定着を実現するために、会員施設での一層の工夫や改善を促進していくこと、また、地域共生社会の中で障害者支援施設に求められる役割、使命を学び、参加者同士が考え、障害福祉施策の動向や会員施設の具体的な実践を共有することを目的として各発表を行いました。

今回、研究大会開催にあたり、東北6県で実行委員メンバーを



情報交換会のすずめ踊り。参加者も一緒に踊りました！

構成し、実行委員会の開催やお便りの作成など進めてきました。実行委員はじめ、準備等でご協力を頂いた皆様方のお力添えもあり、大きな混乱、事故等なく無事に終えることが出来ました。



基調報告する白江さん

河北新報朝刊掲載
令和6年9月28日(土)



全国身体障害者施設協議会
災害時の支援
現状・課題共有
仙台で研究大会
第46回全国身体障害者施設協議会研究大会が26、27日、仙台市青葉区で開かれた。各施設の実践を共有して障害者支援の向上を図ろうと、全国1050人の施設職員が集まった。

協議会の白江浩会長が基調報告で、1月の能登半島地震について話した。福祉避難所の設置が少なかったことなど、災害時の障害者支援には多くの課題があると指摘した。

白江会長は「人権を守る」という点で避難所の質も守らなければならない。施設間の支援ネットワークを整えるなど、備えが大切」と訴えた。

協議会主催で、仙台育英高硬式野球部の須江航監督の記念講演もあった。

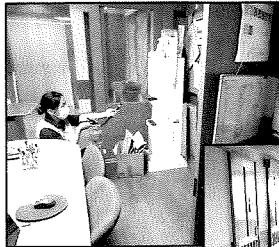
避難訓練を行いました！

法人の防災規定に則り、入居者が生活されている3事業所では年2回避難訓練を行っています。今年度第1回目となる訓練を9月と10月に実施しました。

【太白ありのまま舎】

9月6日（金）、夜間震度5強の地震が発生し、地震に伴い火災が発生した想定で訓練を行いました。訓練内容は、地震による落下物から頭や体を保護した後、地区表示灯の確認・現場の確認・通報（手順確認）・初期消火（消火器で15秒間放射体勢維持）・避難指示・入居者の誘導などを、災害マニュアルを参考に安全を最優先とする訓練を実施しました。

（事務局 森祥二）



初期消火！



【亘理ありのまま舎】

10月3日（木）、夜間に1階いちこの里ユニット・ランドリールームからの出火想定で、夜勤者2名・宿直者1名で参加入居者22名の避難誘導を行いました。

緊張感のある訓練を行うことができたが、避難マニュアルに囚われすぎた行動も見受けられました。実際に火事が起きた場合には、生命の安全を最優先とした的確な行動を心がけたいと感じた訓練となりました。

（鈴木一彦）



みんなのホールに避難



【自立ホーム】

10月25日（金）夜間に入居者居室から火事が発生したことを想定した避難訓練を実施しました。今回は7名の入居者全員が参加し、また新しく1名の方が8月に入居者され始めての訓練となりました。

事前に入居者おひとりおひとりと前回のの変更や避難経路の確認をさせていただきました。ある方は外に避難するために窓の鍵が自分で開けられるか不安があるとお話があり、スタッフが鍵を開けることに変更しました。今回入居者の居室を出火場所にしたが、火元の近いところから避難の音がけをする視点が抜けてしまい反省点となりました。状況によって焦らず的確な避難の判断が必要になることを感じました。生命を守るためのひとりひとりの状態に合わせた避難誘導をしっかり検証していきたいと思います。

（佐藤環）



居室から外へ避難

仙台市障害者基幹相談支援センターの委託を受けました

令和2年に仙台市直営基幹として開設した仙台市障害者基幹相談支援センターについて、令和6年10月1日より社会福祉法人ありのまま舎が委託を受けました。

「基幹相談支援センター」とは、地域の福祉に関する相談や支援の中核的な役割を担い、全国の市町村、または圏域に設置が進められている機関です。市内の相談支援事業所やそこに従事されている方が抱えている相談に対応し、後方支援指導や人材育成のサポートを行います。また、仙台市及び各区で構成されている障害者自立支援協議会に参加させてもらい地域のネットワークづくりの状況を把握し、障害児者支援への取り組み状況を理解し、必要な共同支援の掘り起こしなどを行います。

難病や障害を持った方々においては様々な困難を抱えておられ、それらに関わる相談支援事業所と共に連携とサポート強化を図り、細かな対応と地域全体の機能が拡充できるように努めていきたいと思っています。



フラワード 虹の丘本店は新店舗にて元気に営業中！

スマホで簡単予約♪
モバイルオーダーはじめました→



ご来店やドライブスルーでお受け取りのご注文をスマートフォンで簡単にご予約いただけます！

FLOWERED
花のフラワード

虹の丘本店 仙台市泉区虹の丘4-14-1
泉中央 SELVA 店 仙台市泉区泉中央1-4-1
北仙台店 仙台市青葉区昭和町5-42

TEL022-375-4411
TEL022-371-0311
TEL022-728-4411

西多賀エリア

【ホームケア仙台ありのまま舎
リビングセンター】

2020年1月に新型コロナウイルスの流行が始まり、当時自立ホームでもゾーニングを行い感染者が出た場合の体制を整えてきました。5類に変更になつてからも個人防護具着脱シミュレーションを続け、研修回数を増やしました。あわせて嘔吐物処理も行っています。

グループホームは入居者やスタッフが少なく規模は小さいですが、その分感染が拡大すると対応するスタッフが断然少なくなります。また基礎疾患のある入居者の方が暮らしているため重症化するリスクは変わらず、絶対に感染を広げてはいけません。太白ありのまま舎の感染症対応を学び、安易な対応にならないよう心掛けてきました。

定期的に研修を行うことでケアスタッフが自覚を持ち、意識して取り組むことができるようになりました。「動線を考えると備品はここに置いた方がいいのではない」「次亜塩素酸ナトリウムの消毒液を作る時に量が測れるペットボトルが近くにあると分かりやすい」などその場で気が付くことや疑問が毎回でてきます。気付きを深め、研修を通していざという時にしっかりと対応できるようにと思います。

(佐藤環)

茂庭台エリア

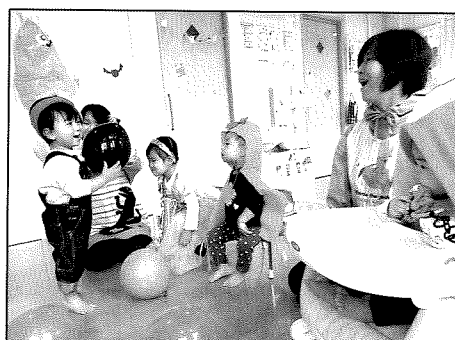
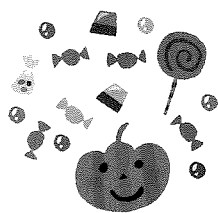
【チャイルドケア仙台ありのまま舎保育園】

楽しみにしていた紅葉がいつの間にか終わってしまい、冬がもう始まりますね。寒さも厳しくなってきました。体調を整えて冬に備えていきましょう。

先月から0歳児のお友だちが増え、保育園はさらに賑やかになりました。小さなお友だちが増えると、子どもたちなりにお兄さんお姉さんになるぞと感じるようで、思いやる姿や心身の成長が見られるようになります。嬉しいことですが、そこには葛藤が含まれていることも忘れてはいけません。成長は見られていても、まだまだ小さな子どもたち。甘えたいし、自分だけを見てもらいたいのです。その気持ちを抑えつつ小さなお友だち



仮装をして楽しいハロウィンパーティーの様子



のために頑張ってしまうのです。子どもたちの純粋な姿ですね。その点だけ褒めてしまうと、やはり無理が出てきて不安定になります。頑張っている姿は認めつつ、ちゃんと見ているよ、大好きだよと、普段以上に伝えてあげることが大切です。

(春日麻里)

名取エリア

【サポートケア名取ありのまま舎
(難病・障害者相談支援センター)】

今月は知的障害のある40代男性のWさんにインタビューをしました。

Wさんは就労継続支援B型事業所で施設外就労として清掃作業などに取り組まれています。

①マイブームについて

ずっと前からのブームですが、嵐やKing of Kings、V6のCDを集めることです。

歌が好きなので、自宅で聴いています。最近では西野カナさんの歌も好きです。

②ほっとする時間

仕事が終わって自宅に帰った後に、テレビで時代劇を観ている時です。「必殺仕事人」が一番好きです。

③今後の希望について

僕には甥や姪がいます。おじさんとしてこの前のお盆に、お盆玉をあげることができました。これからは仕事を続けて甥や姪にお小遣いをあげたいです。

人とのコミュニケーションが大好きで、周りの雰囲気を知るくしてくるWさんが、これからもやりがいを持って就労継続支援B型事業所で作業に取り組めるようサポートさせていただきます。

(澤田石裕子)

 山田かざとり眼科

 022-748-7657

診療に関するお問い合わせや当院に関するご質問、ご要望などお気軽にお問合せください

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休診
14:00~17:00	○	手術	○	○	○	休診	休診

〒982-0818 宮城県仙台市太白区山田新町82
(K's ケーズデンキ仙台太白店そば)

巨理エリア

【サポートケア巨理ありのまま
舎基幹相談支援センター】

障害者福祉施設等で障害のある方（児童）を支援する職員を対象に、障害特性に合わせた意思決定支援について理解を深める機会として研修会を開催しました。

研修会では「意思決定支援とその人の権利と権利擁護」と題し、社会福祉士会の方より講話をいただきました。講師からは、意思決定支援は突然始めるのではなく、日頃の利用者との関わりの中で信頼関係を築き、それが意思決定支援に繋がるというお話をいただきました。

研修後のアンケートでは、「自分自身と事業所を見直すきっかけになりました」「今までの自分の言動はどうだったか、誘導になっていなかったかなと振り返って考える良い機会になりました」などの感想がありました。

意思決定支援の基本は日々の利用者との関わりで、時間をかけて行なっていくものだということを確認出来た様子でした。権利擁護や意思決定などは日々の学びと振り返りが必要です。今後も、繰り返し研修会などを通じて、共に学んでいけたらと思います。

(馬場美和)

【サポートケア県南ありのまま舎
（難病・障害者相談支援センター）】

県南ありのまま舎に勤務して半年が経ち、巨理町の景色も徐々に見慣れて街を歩いている利用者の方に気がつくこともできるようなったこの頃です。

障害福祉サービスの調整や経過確認を行うモニタリングを実施していく中で、ある障害児の保護者の方から現在療育支援を利用している2カ所の児童発達支援事業所について利用日数の調整の相談がありました。ご両親は初めての育児ということもあり「今、この子にこのサービスを受けさせたい。後悔したくないので、やれることをやってあげたい。」と何度も話し合ったとのことでした。利用日数変更の内容をサービス提供事業所に伝えた際に「今必要な支援は〇〇なのでどうかと思うが」という事業所側の熱い思いも受け止めつつ、結果的には利用者の方（保護者）の望むサービスを提供できるよう調整に務めました。

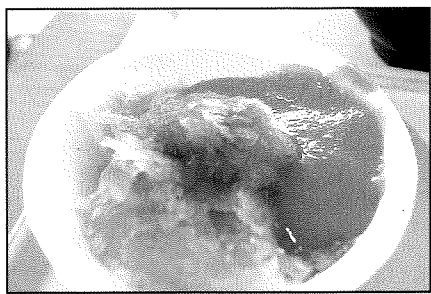
利用者の方や保護者の方の希望と、サービス提供事業所側の思いに相違が生じたことで、正直これと本当に良かったのだろうかという思いも抱きましたが、職場の先輩方の助言もあり、改めて本人主体の視点に立ち戻っていくことの大切さを感じた事例でした。

(根元香奈子)

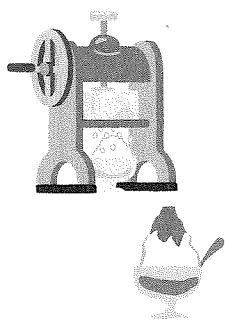
【難病ホスピスケア巨理ありのまま舎
（栄養マネジメント）】

巨理ありのまま舎では施設内でなかなかイベントを開催できていないことから、ケアスタッフ発案で各ユニットで日付を分け、昼食後にかき氷を提供しました。そろそろ肌寒くなりそうな時期の9月末から10月初めにかけて提供したため、入居者・利用者の皆様に季節外れだと思われなかったかと心配でしたが、提供時「寒くても良いから今後もやってもらいたいなあ」「とってもおいしいです。準備された方にお礼を言っておいてください」など温かいお言葉を頂きました。

かき氷は、嚥下困難の方、血糖コントロールが必要な方でも召し上がれるよう、栄養士がとろみ剤入り・砂糖代わりにゼロ



黄桃缶をムースにしてかき氷に
トッピング！



4種類のかき氷シロップを用意

カロリー・甘味料を使用した氷を予め作り、氷を削るとふわふわなめらかな食感に仕上がると準備しました。氷は溶けてもとろみがついた状態で安全に召し上がることが出来ます。かき氷のシロップは2種類以上かける方、悩みながら決める方などで、選ぶ楽しさを感じていただけたかと思っています。

今後は時期に合わせた企画を考案し、施設でも様々なイベントを楽しめるよう恒例化できればと思います。

(渡部海美)

「協力ありがとう
ございました（敬称略）」

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付けを、仙台西高等学校JRC有志・東北学院榴ヶ岡高等学校有志・個人の皆様にお手伝いいただきました。

◆会報の折り込みは、日本基督教団東北教区婦人会のいずみ愛泉教会と仙台川平教会の皆様にご協力いただきました。また、自立ホーム入居者有志の皆様、体調をみながらお手伝いいただいています。

◆バザー会では、各会場でコロナ感染症予防に気を付けながらお手伝いいただいています。シヨップセールの会場でも、開始準備や片付け等のお手伝いいただきました。

【太白ありのまま舎】

◆茂庭台ボランティアグループの皆様による「気ままに書く会（書道）」◆宮城県車いすダンス協会様による「車いすダンス」など、基本的な感染対策を講じながら、活動の制限緩和をしていきたいと考えております。

年末に近づき、お忙しくなってくる時期かと思えます。皆様ご健康で笑顔に過ごせますよう、心よりお祈り申し上げます。

(遠藤寿子)

連載

ありのまま舎書籍紹介④(最終回)

1冊500円の割引価格で販売させていただく書籍とDVDです。
送料は1冊210円です。(10月1日より郵便送料の変更により)



劇映画 (DVD)

「メタセコイヤの木の下で」
2005 年ヒューストン国際映画祭ロマンス部門銀賞受賞・
日本映画ペンクラブ推薦

難病患者であっても重度の障害があっても、誰もがそうであるように、人を愛し共に生きたいと願う。その純粋に愛し合う二人の姿を描く愛の物語。

◆出演 伊崎充則・岡本綾
高橋恵子・北村和夫
浅香光代ほか
(定価 5,000 円)



「愛 ふり返る時」

— 難病患者・命を賭けた
10 年の記録 —
著 山田富也

長兄寛之、次兄秀人を相次いで失い、追い打ちをかけるようによき指導者であった「ありのまま舎」代表の大坂誠先生が突然の病で帰らぬ人に。立ち直れないほど衝撃と絶望の淵に突き落とされた。しかし、多くの人の支援者に支えられ、再び歩き始める。

(1985 年 8 月出版)
(定価 1,000 円)

8、9、10月号に掲載した書籍についてもご注文可能です。
書籍によって贈呈または1冊500円での販売です。詳細はお問合せください。

【お申込み】ご希望の方は、電話、FAX、郵便またはメールにてお受けいたします。

下記の内容を記載の上、ありのまま舎宛にご注文ください。

1. ご住所 2. お名前 3. ご連絡先 (電話・携帯など)

4. お申込み内容 (書籍名と冊数)

◆送料 1冊210円。スマートレターでお送りします。(3冊以上は要相談)

◆お支払い 本と一緒に郵便振替用紙を同封いたします。

「ご支援頂きありがとうございます」
ございました(敬称略)

【バザー提供】
24 9/29 ~ 10/23

(川尻誠)

【未使用の古切手等を集めています】

10月1日より郵便料金が変わりました。
通信費の一部として活用したく思います。

※10月号の会報を見てご提供くださった方がおられました。大切に遣わせていただきます。



【シヨップ提供】
24 10/3
(栗原市) (有) アルコン

【バザー開催日のご案内】
《2024年12月》

3日(火) コークベニマル鉤取店
5日(木) ヨークマルシェ大和町店
10日(火) ヨークベニマル南宮成店
12日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば
17日(火) ヤマザワ茂庭店
21日(土) ありのままシヨップセール
(仙台ありのまま舎)
24日(火) 袋原(向日葵ライフ
サポートセンター)
26日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば

24 9 / 27 3 10 / 28
ありのまま舎後援会 (敬称略)

24 9 / 1 3 9 / 27
「ありのまま舎運営協力寄付金」
(敬称略)

(事務局 佐藤環)

【自販機販売設置支援】

◆サントリービバレッジ

9月分の売上の一部をご寄付
頂きました。

こくみん共済coop

宮城推進本部 1, 471円

ありのまま舎 (自立ホーム・太

白ありのまま舎・サポートケア

県南・亘理ありのまま舎

10, 805円

◆株式会社ミチノク

24 7 9月分売上

日下亜弥 1, 574円

亘理ありのまま舎

11, 442円

